

新春市民交歓会

「がんばろう」三唱でさらなる飛躍を誓う

1月5日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で「新春市民交歓会」が開催され、約520人が参加しました。

主催者のあいさつで始まり、来賓祝辞、叙勲等受章者の紹介、白河謡曲会好謡会が祝謡を披露。続いて、ダルライザー、小峰シロ、しらかわんの市公認キャラクターと、表郷商工会のおもてんくん、ひがし商工会のきつねっこの5体が、主催者や来賓とともに鏡開きを行いました。

結びに、全員で「がんばろう」を三唱し、1年の飛躍を誓いました。



▲「がんばろう」を三唱する参加者

市立図書館利用促進講演会

絵本や絵かき歌でみんなが笑顔に

1月10日、市立図書館りぶらん（道場小路）で「もったいないばあさん」シリーズや「おべんとうバス」で著名な絵本作家、真珠まりこさんを招き、「もったいないばあさんのおはなし会」と題した講演会が開催されました。

真珠さんは、自分が著作した絵本の読み語り子どもたちを喜ばせたほか、「もったいないばあさんのえかきうた」や「もったいないばあさん音頭」を流し、会場は笑顔であふれていました。



▲真珠さんの話に聞き入る参加者

作っちゃお！太陽光パネル

電気の大切さを身を持って学ぶ

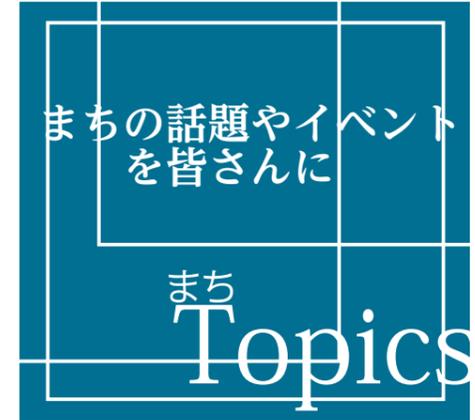
12月21日、産業プラザ人材育成センター（中田）で、太陽光パネルを製作するイベントが開催され、小学3年生から6年生11人が参加しました。

講師の島村守彦さん（いわきおてんとSUN企業組合）が、太陽光パネルが発電する仕組みを説明、続いて、児童たちが指導を受けながらパネルを製作しました。

太陽光という身近な再生可能エネルギーを体験した児童たちは、電気を生み出すことの大変さを身を持って学んでいました。



▲島村さんの説明を聞く児童たち



▲小峰通りをパレードする様子

白河市消防団出初式

防火・防災の決意を新たに整然とパレード

1月4日、消防団出初パレードと出初式が行われ、約800人の消防団員が参加しました。

パレードは、火災予防の啓発を兼ね、本町から中町、小峰通りを経て市民会館までの約1kmの道のりを消防団員が整然と行進、頼もしい姿を披露し、統監の鈴木市長が見守りました。

市民会館（手代町）で行われた式では、鈴木市長が「市民の安全安心のため精励してほしい」と訓示、鈴木肇白河方面隊長が「消防団の任務の重要性を再認識してほしい」とあいさつし、団員は防火・防災の決意を新たにしていました。また、式に先立ち、消防車両等の引き渡し式も行われました。



▲出初式の様子

4公民館合同活動「ウィンタースポーツ体験」

スケートを楽しみながら交流を深める

12月24日、磐梯熱海アイスアリーナ（郡山市熱海町）で「ウィンタースポーツ体験」としてスケート教室が開催され、80人の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、意欲的にインストラクターからの指導を受け、転びながらも真剣に取り組み、最後には、みんなが立って滑ることができるようになりました。

この活動は年に4回、4地域の公民館が合同で開催していて、子どもたちの交流を深めるきっかけになっています。



▲楽しく練習する子どもたち